


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



9月のアルミ概況および10月の見通し (3)

■国内概況まとめ

【自動車】

7月の自動車生産台数は前年比+11.8%の89万6,906台。輸出(8月)は34万9,518台で前年同月比-21.6%。

【販売】

9月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+12.8%の34万7,706台。

内訳は、乗用車+13.3%、貨物+10%、バス-2.5%。

【住宅着工戸数】

令和元年8月の住宅着工戸数は7万6,034戸、前年同月比で7.1%減。また、季節調整済年率換算値では89.1万戸(前月比2.1%減)。

前年同月比で2か月連続の減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で分譲住宅は増、持家及び貸家は減。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.7%、13万5,299 t、マイナスに反転。

板類は、8万148t、-7%、マイナスに反転。

押出類は、5万5,151t、-6.3%、6ヶ月連続でマイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-4.2%、5万7,406 t、8か月連続マイナス。

出荷は-6.3%、5万8,927 t、3か月連続マイナス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+28.1%の127 t。

二次合金が-26.5%の881 t。

スクラップが+175.2%の1万7,022t。

アルミ缶が+30%の7393 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比-20.7%の9万9,295t。

二次合金が-9.4%の9万7,842t。

スクラップが-65.5%の442t。

合金スクラップが-9.5%の2,942 t。

【見通し】

自動車は生産が+11.8%。国内販売台数が前年比+12.8%。生産、販売共に大幅増。生産、販売共に調整が入り来月は減少か？

【アルミ圧延・押出品生産数】

先月19か月ぶりプラスになったが再びマイナスに反転。今後更にマイナスが続くかの動向に注視。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

今後マイナスが続くかの動向に注視。

【輸出入】

アルミ輸出は、2次合金のみ減少。

アルミ輸入は、内需低迷から全品種減少。

【スクラップ景況予想】

前月に続き流通在庫は販売価格の低迷、生産減、発生減から少ない。

需要面に関しては足元の生産状況が徐々に悪化しており減少。

更に安い輸入塊が入ってきてることや米中貿易戦争から不透明感が強くメーカーの購入意欲は低く、スクラップ販売は当面厳しい。

【LME・為替予想】


今月は米中貿易戦争の動向、英国のEU離脱に左右される。

米中貿易に関しては過度な懸念は後退傾向にあるが、中国建国70年となる国慶節で米国を牽制する発言や軍事パレードを行うなどしておりまだまだ混乱は続く。

EU離脱に関しては、ジョンソン英首相の強硬姿勢が保守党議員との軋轢を生んではいるが、離脱派の党員たちの間では共感を呼ぶなど混乱は続く。

これらを踏まえた10月のアルミ価格は、1,700-1,800ドル。スクラップ購買価格に関しては0から-5円程度と予測している。

【「9月のアルミ概況および10月の見通し」終了】

 LME認定倉庫在庫量推移 9月23日~10月4日(現地)

<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>
どなたでもご覧になれます。

